

ちの市議会だより

CHINO CITY COUNCIL REPORT

2014年 4月17日 第9号

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX0266-73-7936

発行/茅野市議会 編集/議会広報部会 印刷/株式会社 オノウエ印刷

茅野市議会 検索

<http://www.city.chino.lg.jp/>

目次

常任委員会報告	2
陳情議決結果、議員提出議案議決結果	8
一般質問通告一覧	9
議決結果・賛否一覧	10
豪雪被害視察について、編集室より	11
議会報告・意見交換会開催のお知らせ	12

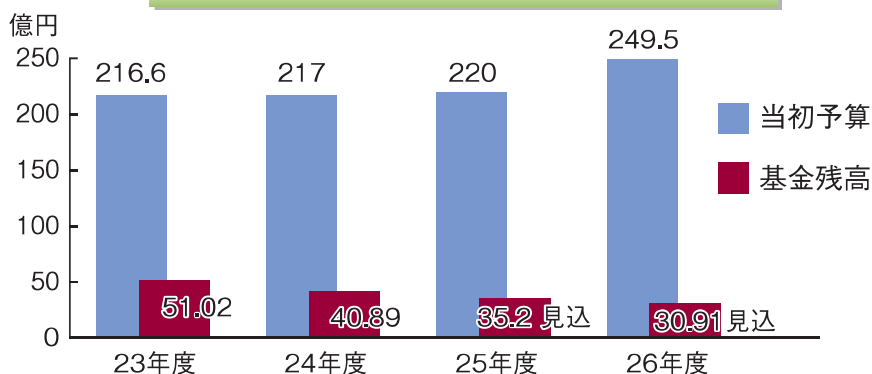
一般会計予算過去最大規模 249億5千万円を可決 適正で効率的な予算執行を

平成26年度一般会計予算は、市民館の借換債、国の臨時福祉給付費・子育て世帯臨時特例給付金を除いても224億937万4千円の予算規模になりました。

平成26年度から3年間で基金（貯金）に頼らない身の丈に合った予算編成に取り組み、一般財源（市民の税金等）は対前年比1億7千5百万円を削減し、特定財源（国県の補助金等）を11億6千万円増やしたものの、基金を4億7千万円取り崩す結果となりました。

縮小された事業であっても十分な成果・効果が得られるよう、予算決算委員会では2日間にわたり活発な審議が行われました。

一般会計当初予算規模と基金の推移



基金が減っているってことは…？



■ その他の平成26年度予算

特別会計	予算額
国民健康保険	59億9,477万9千円
後期高齢者医療	5億7,989万6千円
国民健康保険診療所	2億 956万1千円
墓地事業	1,135万4千円
計	67億9,559万円
予算額	
水道事業会計	22億3,915万1千円
予算額	
下水道事業会計	41億4,567万1千円

※借換債とは…繰上償還（前倒し返済）の財源として新たに起債するもので、これにより歳入と歳出が同規模膨らみます。

通行止めとなった国道20号線（金沢地区）



が
の
元
開
区
金
さ
ラ
の
皆
の
吹
の
行
た。

平成26年2月、記録的な大雪により市内各地で交通網が寸断され、国道20号線は通行止めが何日も続きました。

平成26年 3月定例会より



茅野市議会3月定例会は、2月21日(金)から3月17日(月)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など27議案が審議され、いずれも原案のとおり承認、可決されました。

また、陳情2件のうち1件は採択となり、意見書案2件及び付帯決議案は否決されました。

各議案の一覧及び、議決結果は、10ページをご覧ください。また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

常任委員会報告

予算決算委員会

委員長 勅使川原はすみ

予算決算委員会に付託された案件は、平成25年度の補正予算に係る議案3件と、平成26年度各会計予算に係る議案10件。

議案第14号

「平成25年度茅野市一般会計補正予算(第8号)について」



この議案は、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ、1270万6千円を減額し、288億4067万8千円とするもの。

繰越明許費については5事業、計1億6849万8千円、地方債の補正は、追加が2事業、変更が3事業。

主な歳出

- ・諏訪南行政事務組合の平成24年度ごみ処理事業特別会計決算の繰越金による負担金精算に伴う負担金5355万1千円の減。
- ・国の補正予算に伴い、橋梁修繕工事を行うことによる3千2百万円の増。

議案第27号

「平成25年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について」



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億7460万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ291億1528万3千円とするもの。

繰越明許費の補正は、追加1事業。金額は5千万円。

これは、2月14日、15日の豪雪による関係経費、市内道路の除雪排雪に係る経費及び国道20号線の通行止めによる車輛の帰宅困難者救済のため避難所を開設したことに伴う関係経費。

主な歳入

- ・除雪用重機借上料2億1千万円。

- ・雪捨て場となっている自由広場の整地工事請負費4千万円。

- ・避難所を開設したことに伴う関係経費として、合計210万5千円。

- ・雪害対策本部が設置されたことに伴い、茅野市大雪対策協力交付金交付要綱に基づき、区自治会へ交付する大雪対策協力交付金1千6百万円。

歳入としては、財政調整基金からの繰り入れなどのほか、諸収入として、姉妹都市である千葉県旭市、株式会社八十二銀行、全国市議会議長会からいただいた災害見舞金、計45万円。

議案第15号

「平成25年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について」



この議案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3千9万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ57億2888万円とするもの。

議案第16号

「平成26年度茅野市一般会計予算について」

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ249億5千万円と定めるもの。

このほか、債務負担行為として、中小企業活性化推進事業、デジタル防災行政無線整備事業について期間及び限度額等を定め、地方債として、横内保育園建設事業ほか15事業、計16事業の限度額等を定めるもの。

また、一時借入金金の借入れ最高額、歳出予算の流用について定めるもの。

【討論】

反対意見

国民健康保険に対する繰り入れ、大変な方々に対する目がこの中に現れていない。それと同時に、ひとり親家庭等児童入学卒業祝金が廃止され、また、介護福祉金支給事業も縮小され、いずれは廃止するというものになっている。お金は限られているが、大変なところに目を向けて、そこに財源を投下

していくという思いを感じられないので反対。

賛成意見

基金に頼らない身の丈にあった財政の健全化を目指して、市長と職員が一丸となって、事業を見直し、やり方を見直し、働き方を見直すことで経費削減、特定財源の掘り起こし確保に努めたことが伺える。また、借換債を除くと当初予算ベースで226億円となり、また、一般財源ベースで1億7千5百万円の縮減が図られている。基金の取り崩しも4億7千万円で、平成26年度末の基金残高が30億を見込んでおり、財政の健全化に向かっているものと判断する。よって、平成26年度一般会計予算を適当なものと認める。

なお、新たな秩序の構築という旗印の下、様々な事業の見直し、補助制度、サービスの見直しが行われるが、十分な市民への説明と、市民活動、市民生活への影響を最小限とすることを願う。



議案第17号

「平成26年度茅野市国民健康保険特別会計予算について」

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億9477万9千円と定めるもの。

この他、一時借入金金の借入れ最高額、歳出予算の流用について定めるもの。

議案第18号

「平成26年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について」

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億7989万6千円と定めるもの。

議案第19号

「平成26年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について」

可決

この議案は、収益的支出、資本的支出の総額を2億956万1千円と定めるもの。この他、一時借入金金の限度額、流用などを定めるもの。

議案第20号

「平成26年度茅野市墓地事業特別会計予算について」

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ135万4千円と定めるもの。

議案第21号

「平成26年度茅野市水道事業会計予算について」

可決

この議案は、収益的支出、資本的支出の総額を22億3915万1千円と定めるもの。この他、一時借入金金の限度額、流用などを定めるもの。

議案第22号

「平成26年度茅野市下水道事業会計予算について」

可決

この議案は、収益的支出、資本的支出の総額を41億4567万1千円と定めるもの。この他、債務負担行為、企業債、一時借入金金の限度額、流用などを定めるもの。

【議案第23号から、議案第25号までの3議案は、各財産区の予算】

議案第23号

「平成26年度茅野市米沢鑄物師屋財産区特別会計予算について」



議案第24号

「平成26年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について」



議案第25号

「平成26年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について」



旭ヶ丘住宅団地（金沢地区）
※現在販売中の区画があります。
（問い合わせ先：企画課）

総務環境委員会

委員長 小松 一平

総務環境委員会に付託された案件は、議案6件、陳情1件。

議案第3号

「権利の放棄について」



この議案は、茅野市土地開発公社の解散のため、権利を放棄することについて、地方自治法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決をするもの。

放棄する権利の内容

土地開発公社解散に伴い茅野市が金融機関に代位弁済する53億3百万円から、代物弁済として取得する土地の評価額等25億3442万9730円を控除した27億6857万2700円の求償権。

放棄する権利の相手方

茅野市塚原二丁目6番1号
茅野市土地開発公社
理事長 立石良忠

放棄する理由

茅野市土地開発公社の解散に当たり、債権の弁済の見込みがないため。

【質疑】

質問

「時価評価額、簿価の基準日はいつか。」

回答

「販売価格が決まっている住宅団地以外の土地については固定資産税評価額を基に算定しているが、土地開発公社として確定したのは理事会での議決日の平成26年2月5日である。」

質問

「中村工業用地の現状はどうなっているか。」

回答

「平成24年に、公社と株式会社イースタンで分割支払いによる売買契約が締結されており、残り、毎年6千7百万円ずつ、9年分の債権として、6億3百万円ある。」

質問

「土地区画整理用地があるが、どのような土地か。」

回答

「土地開発公社で先行取得していた土地が、たまたま区画整理地内にあつたものである。」

議案第6号

「諏訪広域連合規約の一部変更について」



この議案は、諏訪広域連合が処理する事務等から特別養護老人ホーム恋月荘に係る事務等を廃止するために、地方自治法第291条の3の規定により、諏訪広域連合規約の一部を変更し、恋月荘に係る部分を削るもの。
施行日は、平成26年4月1日。

【質疑】

質問

「恋月荘の民間への移管後に現在の利用者が入居できるのか、またその場合料金の変更と変更の場合の説明はどうするか。」

回答

「利用者が移管後の利用を希望する場合は引き続きサービスを受けることができる。また、3年以内に建て替えをした場合、多床室から個室の流れの中で、介護保険の算定基準が変わるのでそれに伴う個人負担は変わらなうが、利用者処遇の水準を向上させる目的でその内容や費用を変更する場合

は、利用者に十分な説明を行い、同意を得ることを移管の条件としている。」

【討論】

反対意見

「恋月荘が民間の施設へ代わるということは、公の責任を放棄することとなるので、反対である。」

賛成意見

「この議案については、広域連合で十分審議されてきた内容であるので賛成である。」

議案第7号

「諏訪広域連合特別養護老人ホーム恋月荘の廃止に伴う財産処分について」



この議案は、特別養護

老人ホーム恋月荘の廃止に伴い、財産処分することについて、地方自治法第291条の11の規定により、議会の議決をするもの。

処分する財産は、土地については有償、建物、工作物及び物品については無償の譲渡となる。

譲渡先は、長野県厚生農業協同組合連合会。

【質疑】

質問

「土地については、価格が出ているが、建物、工作物、備品は無償となっているが、評価額は出しているのか。」

回答

「広域連合で残存価格の試算をしている。建物については、約3千9百万円の残存価格であり、工作物は約710万円の残存価格としている。物品はトータルとして約1千6百万円の残存価格であると試算がされている。」

【討論】

反対意見

「議案第6号と同じく、公の責任を放棄することなので、反対する。」

賛成意見

「譲渡先が長野県厚生農業協同組合連合会で、信頼すべき譲渡先だと思う。また、広域連合で十分審査されたことであるので賛成する。」

議案第8号

「諏訪南行政事務組合規約の一部変更について」



この議案は、諏訪南行政事務組合において共同処理する事務に、新たに、諏訪南リサイクルセンター及び最終処分場の設置等に関する事務を加えるため、地方自治法第286条第1項の規定により、諏訪南行政事務組合規約を変更するもの。

変更点は、リサイクルセンター及び最終処分場に関する事務と、それらの事務に関する経費区分と負担割合を追加すること。施行日は、県知事の許可日。

【質疑】

質問

「リサイクルセンターの現在の考え方について。」

回答

「現在、具体的なものは決まっていない。現在ある茅野市の不燃物処理場と南諏訪衛生施設組合の粗大ごみの処理場について、老朽化による建て替えが必要であり、この二つの施設を継承できるように

施設を一つ作り、収集物品を3市町村で統一し、同じ内容・品目・水準で、処理することを考えている。その規模、位置などは決まっていない。」

議案第9号

「茅野市税条例の一部を改正する条例について」



この議案は、地方税法等の一部改正に伴い、関係規定を整備するため、本条例を改正するもの。

■主な改正点

- ・個人市民税の年金特別徴収制度に係る見直し。
- ・固定資産税の家屋の特定付帯施設の納税義務者についての規定。
- ・金融所得課税の一本化に伴う改正。

施行日は、平成28年10月1日。
(二部の規定は除く)



議案第11号

「茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」



この議案は、地方税法等の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。

■主な改正点

・「金融所得課税の一本化」に伴う改正。

施行日は、平成29年1月1日。

陳情2

「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める陳情書

採択の意見



「特定秘密保護法が制定した今でも、世論調査では、5割以上が疑問に思っている。公務員法や自衛隊法で今でも秘密に関する規定があるのに、なぜこのような法案必要か。防衛等に係わる人がいれば、親兄弟親戚まで身辺調査がある。法案をきちんと点検して、おかしいことは言わなければいけない。」

「この法案は、治安維持法や特攻警察を想定してしまう。さらに、

政治家の立場から、いろいろな項目で秘密の指定ができるといった曖昧な部分もある。国家公務員法や自衛隊法の縛りの上にさらに縛りをかけるということについて、他に狙いがあるのかと考えてしまう。国会審議の中でも、何が秘密かを明らかにせず、それ自体も秘密であることはたいへん危険である。」

不採択の意見

「国としては適正な運用を図るための仕組みや制度作りを行っているが、国民に周知されていないと思う。陳情書にあるように国民の疑問不安を払拭するような説明をしなくてはいけないが、12月議会でも議論したが、この法律が必要であることは事実である。」

「茅野市議会では、前回の12月議会でも対応しており、「法の慎重・適正な運用を求める意見書」を出しているの、これを早めるような意見書なら賛成であるが、この陳情は、法の廃止を求める意見書の提出を求めるものなので、考えが違っている。」

「厳しい世論もあるが、国では

経済建設委員会

委員長 宮坂 武男

経済建設委員会に付託された案件は、議案3件。

議案第4号

「市道路線の認定について」
(金沢青柳地籍)



この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。

当該道路及び歩道橋をセイコーエプソン株式会社から譲り受け、市道路線の認定をするもの。

歩道橋については、市が譲り受けるにあたり、塗装し直されており、今後しばらくは、補修費などはかからない状態となっている。

議案第5号

「市道路線の廃止について」
(北山芹ヶ沢地籍)



この議案は、道路法第10条第3項の規定により市道路線を廃止するもの。

当該道路は、同一所有者の敷地内に位置し、道路としての用をなしていない状況にあるため、隣接する市道への付け替えをし、廃止とするもの。

議案第13号

「茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について」



市道路線として認定される青柳第2歩道橋(金沢青柳地籍)

この議案は、市単独住宅の駐車場の使用料を改定するため、本条例の一部を改正するもの。

施行日は、平成26年4月1日。

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子

福祉教育委員会に付託された案件は、議案3件、陳情1件。

議案第2号

「行政財産の無償貸付について」

可決

この議案は、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、民営化となる茅野市横内保育園用地として、茅野市ちの字家下2576番1を含む2筆を、社会福祉法人松本福祉会へ無償で貸し付けることについて議会の議決を求めるもの。

貸付期間は、平成26年4月1日から平成56年3月31日まで。

【質疑】

質問

「貸付期間を30年としているが、

30年というのは、一般感覚からするとかなり長いような気がするが、法的な根拠があるのか。」

回答

「国が『保育園における社会福祉法人会計基準の適用について』という通達を出しており、一定の基準に沿って運営をすることになっている。この中に、原価償却費の考え方が示されており、鉄骨造りの保育園の耐用年数は34年と定められている。その建替えにあたり、準備期間等も考慮し、30年という区切りの良い年数とするところが適当ではないかという考えに基づき、運用している。」



横内保育園用地現地視察

議案第10号

「茅野市保育所条例の一部を改正する条例について」

この議案は、茅野市わ

可決

かば保育園を民営化することに伴い、同保育園を市の保育所から除くための条例改正。

施行日は、平成26年4月1日。

議案第12号

「茅野市指定居宅介護支援事業及び指定介護予防支援事業の料金に関する条例の一部を改正する条例について」

この議案は、指定居宅介護支援事業を廃止することに伴い、関係規定を整備するための条例改正。

施行日は、平成26年4月1日。

可決

介護保険制度が開始された平成12年当時、ケアプランを作成できる居宅介護支援事業所が少なく、茅野市役所指定居宅介護支援事業所でもケアプランの作成を行ってきたが、現在では、開始当時と比べ居宅介護支援事業所や介護支援専門員も増加し、ケアプランの作成には支障がなく、また、平成23年度以降は、茅野市役所指定居宅介護支援事業所としての新規の受け入れもないことから、廃止をする。

【質疑】

質問

「居宅介護支援事業に係る仕事量はどれくらいか。」

回答

「直近では、ケアマネジャーの資格を有する一人の職員が4名のケアプラン作成にあたっていた。仕事内容は、訪問調査や、ケアプランの作成、介護サービスが適正に実施されているかについてのモニタリングであるが、担当職員は、その他の業務も担当しながらこれらの業務を行っており、居宅介護支援事業に多くの時間をかけていたということではない。」

陳情1

「これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書」

採択の意見

採択

「要望事項の中には既に市で取り組んでいる内容もあるが、青年を代表して青年教育の更なるあり方について要望をしているものと解釈できるので、採択すべき。」

平成26年3月定例会 陳情 議決結果

番 号	表 題	提 出 者	議決結果	
			委員会	本会議
陳 情 1	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	日本青年団協議会	採 択	採 択
陳 情 2	「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める陳情書	茅野市9条の会	不採択	不採択

平成26年3月定例会 議員提出議案 議決結果

※各議員の賛否については、10ページをご覧ください。

議案番号・件名	内 容(要約)	提出者	議決結果
1 議案第16号 平成26年度 茅野市一般会計予算についてに対する付帯決議(案) ※付帯決議とは…本会議または委員会における審議の対象となった案件について、執行上の要望や執行に当たつての希望条件等を意志としてまとめたもの。	- 介護福祉金の減額については、介護現場を日夜献身的に支えている家庭介護者の労苦と心情に鑑み、丁寧な住民周知と家庭介護者への慰労施策の充実を求める。 - 生ごみ回収・堆肥化処理事業については、一旦は廃止が決まったものの再度復活したが事業内容が不明確なため、適切かつ有益な事業となることを求める。 ■反対意見 - 多くの事業に対し、事業費の削減がされているが、住民サービスが極力低下しないよう創意工夫がされている。この2つの事業にのみ絞つての提案には反対。 - 予算決算委員会では、各議員から多くの事業に対して、市民の立場に立ち意見が出された。その中でこの2つに対してのみ付帯決議とすることには反対。 - 予算決算委員会では、議員全員から意見が出され、質問に対しては市側から丁寧な説明がされた。意見に対して、十分な配慮をするとの説明もあり、付帯決議を付ける必要はない。 ■賛成意見 - この2つは象徴的な事業である。介護福祉金について削減する理由は見当たらない。生ごみ回収・堆肥化処理事業については、理念を継承して、実現に向けて頑張っている市民とパートナーシップを結んで進めることが第一であるが、それができているのかという思いがある。市民の声を拾って議員は声を上げなくてはならない。この付帯決議は、予算審議中の質疑や要望に込める様々な思いを込めた決議であるため賛成。 - 財政改革を積極的に行つたことは評価しているが、茅野市が長い間積み上げてきた「福祉のまち茅野」や「パートナーシップのまち」という理念は、財政改革によって転換期を迎えたと感じている。介護福祉金は、家庭介護者に対して、説明責任が果たされず減額されている。また、生ごみ回収・堆肥化処理事業についても、説明責任が果たされておらず、市当局ですら説明ができない。内容がはっきりしないまま予算計上されたことが大きな問題となっている。この付帯決議は、早急に事業の内容を明確にして、フードリサイクルの推進、生ごみ減量、循環型社会の構築を求めるという付帯決議であるため賛成。	細川 治幸 宮坂 武男 野沢 明夫 北沢千登勢	否決
2 道州制によらない地方自治の充実を求める意見書(案)	今回の道州制導入は、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの市町村において事実上の合併を余儀なくされる恐れが高いと考えられる。その結果、住民と行政の距離が格段に遠くなることから、住民自治が衰退してしまうと考えられる。よって、道州制を導入することなく、国と地方の在り方を十分に議論し、地方分権改革を徹底し、地方自治の更なる充実を強く求め、道州制に反対する。 ■反対意見 - 道州制については賛成のため、反対。 - 自治体の運営は財源がないとできない。効率性、経済性を考えると道州制も一つのツールとして考えるべきであり意見書には反対。 ■賛成意見 - 合併により地域の端々に行政の目が届かなくなり、弱者にしわ寄せがいく。全国町村会が断固反対の意見書をあげていることから分かるように民意を汲み取るべきであり、意見書には賛成。	望月 克治 伊藤 勝	否決
3 憲法を守り政治を行うことを求める意見書(案)	憲法解釈を主権者である国民の声を聞くこともなく変更することは、国民主権を謳った日本国憲法の原理に反することになる。よって政府が、日本国憲法を守り政治を行うことを強く求める。 ■反対意見 - 意見書の内容が憲法を守るという基本のことなので、不明確なところが出てくるため反対。 ■賛成意見 - 日本国憲法の精神を無視した動きがあり、市民に不安感が芽生えてきている。市民の代表として、市民の憂いを国に届けなくてはならないため意見書には賛成。	望月 克治 伊藤 勝	否決

茅野市の課題を問う!

平成26年3月定例会の一般質問は、3月4日、5日、6日の3日間行われ、14人の議員から29項目について質問が市側に出されました。

3月定例会一般質問通告一覧

	件 名
篠原 啓 郎	1 財源確保と財政健全化の検証について
	2 観光振興について
細川 治 幸	3 地域防災力の強化について
	4 3.11の被災地石巻三反走仮設住宅の被災者との交流支援事業について
宮坂 武 男	5 茅野「新星劇場」の今後の活用方法について
	6 東海大学付属第三高等学校の選抜高等学校野球大会への出場に対する支援について
山岸 正 衛	7 「減反政策の見直し」に対する市の対応について
	8 エコラベル商品の普及事業について
伊藤 玲 子	9 市民プラン第2章環境の中の事業について
	10 「茅野市のうまい水活用プロジェクト」について
両角 昌 英	11 人口減少傾向に対応したまちづくりについて
	12 健康寿命延伸のための更なる取組について
小松 一 平	13 発達障がいを持つ児・者への支援の更なる充実について
	14 市民の健康管理について
勅使川原はすみ	15 河川の管理について
	16 目指す効率的なごみ処理について
野沢 明 夫	17 平成26年度予算編成について
	18 将来を展望した学校・保育園のあり方の検討について
小池 賢 保	19 自治基本条例について
	20 地区こども館の「託児所化」について
伊藤 勝	21 消防団活動について
	22 特殊詐欺対策について
樋口 敏 之	23 縄文プロジェクトについて
	24 鹿の被害に対する認識について
堀 晃	25 情報ツールの整備について
	26 長野県の「次世代サポートプラン」をどの様に活用するか
望月 克 治	27 環境問題と健康増進について
	28 社会保障制度改革プログラムへの対応について
	29 国の2014年度予算の活用について

議場で行われる本会議

録画放送をご覧ください。

一般質問等の録画放送がホームページからご覧になれます。(質問日の一週間後からご覧いただけます。)実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひ動画でご覧ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。

3月定例会の会議録の閲覧は、5月末頃にシステムから閲覧できるようになります。

WEBで検索

茅野市議会

検索

3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
○…賛成 ●…反対 ※議長は採決に加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議 決 結 果	北 沢 千 登 勢	伊 藤 玲 子	宮 坂 武 男	伊 藤 勝	篠 原 啓 郎	小 池 賢 保	望 月 克 治	小 松 一 平	樋 口 敏 之	堀 晃	勅 使 川 原 は ず み	細 川 治 幸	野 沢 明 夫	両 角 昌 英	山 岸 正 衛	大 久 保 功 身
市 長 提 出 議 案	1 平成25年度茅野市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26 平成25年度茅野市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 行政財産の無償貸付について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 権利の放棄について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 市道路線の認定について(金沢青柳地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 市道路線の廃止について(北山芹ヶ沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 諏訪広域連合規約の一部変更について	総	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 諏訪広域連合特別養護老人ホーム恋月荘の廃止に伴う財産処分について	総	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 諏訪南行政事務組合規約の一部変更について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 茅野市税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 茅野市保育所条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 茅野市指定居宅介護支援事業及び指定介護予防支援事業の料金に関する条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 平成25年度茅野市一般会計補正予算(第8号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 平成25年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 平成26年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 平成26年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 平成26年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 平成26年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 平成26年度茅野市墓地事業特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 平成26年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 平成26年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23 平成26年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 平成26年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25 平成26年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27 平成25年度茅野市一般会計補正予算(第9号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告	1 専決処分の報告について																		
陳 情	1 これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める陳情書	総	不採択	●	○	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●
議 員 提 出 議 案	1 議案第16号平成26年度茅野市一般会計予算についてに対する付帯決議(案)		否決	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●
	2 道州制によらない地方自治の充実を求める意見書(案)		否決	●	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●
	3 憲法を守り政治を行うことを求める意見書(案)		否決	●	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●

議決日は、3月17日の議会最終日(但し、議案第1号、26号は、2月21日の開会日に即決)

平成26年2月 豪雪被害

被災農家に手厚い支援を 市長へ要望書提出

豪雪の被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

茅野市議会では、2月27日に、農業施設(パイプハウス)の被害状況の視察を行い、被災された農家の方にお話を伺いました。

3月6日には、市に対し、被災された農家の方へ財政支援等をしていただくよう要望書を提出しました。

要望書 要旨

平成26年2月の豪雪による農業被害に関する要望

平成26年2月14日から15日にかけて降り続いた大雪は、大きな被害と混乱をもたらしました。

この大雪により、パイプハウスなど農業施設の全壊・半壊が市内全域で確認され、甚大な被害となっています。

この被害が農業経営に与える影響は極めて大きく、被災農家が営農存続を断念することも危惧されます。

よって、市においては、被災農家の経営の安定を図り、持続的に営農が可能となるよう十分な財政支援や技術的指導の措置を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 パイプハウスなど農業施設の復旧資材の確保、撤去、再建、修繕に要する経費の助成を行うこと。
- 2 農産物の被害に対する支援、水稻・花卉・野菜等の苗の確保への支援を行うこと。
- 3 被災農家が営農意欲を失うことがないよう、従来の枠組みを超えた万全の支援策を講じること。

被害状況

玉川神ノ原地籍



宮川丸山地籍



金沢御狩野地籍



編集室より

春爛漫：

でも今年はいつもの春と風景が違います。2月の豪雪は茅野市にかつてない規模の被害をもたらしました。未だ倒壊したパイプハウスの撤去もままならず、将来に不安を感じている農家の方も多いのではないだろうか。改めて被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。

そして、避難所開設にあたりお力添えをいただいた地元住民の皆様に感謝を申し上げます。

この豪雪は、農業だけでなく観光業や商工業の経済活動を阻み、建設業者は連日連夜除雪にご苦勞され、市は除雪費等に4億円強を投入し、財政に大きな打撃を与えました。

3月議会で一般会計予算を含む全会計を可決しました。災害に強いまちづくりに向けたハード整備が重点施策で計上されているのは心強い限りです。一方で、福祉・教育などのソフト事業で縮小・減額されている事業については、市民に丁寧な説明と温かい配慮がされるよう議会がチェックをしていきます。

議会広報部会 北沢千登勢

議会報告・意見交換会開催のお知らせ

市民の皆さんに議会活動の状況を報告するとともに、市民の皆さんから直接ご意見をお伺いする場として、議会報告・意見交換会を開催します。どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■開催内容 【第1部】 議会報告

- ・議会の役割について
- ・3月定例会で審議した主な議案について

【第2部】 意見交換

- ・市政や議会に関する市民と議員との意見交換

■開催日時等

日 時	場 所	出席議員
5月13日(火) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	豊平地区コミュニティセンター	小平吉保、大久保功身、北沢千登勢、宮坂武男、小池賢保、望月克治、小松一平、樋口敏之、堀晃、両角昌英
5月14日(水) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	ちの地区コミュニティセンター	大久保功身、北沢千登勢、小池賢保、望月克治、樋口敏之、堀晃、細川治幸、野沢明夫、山岸正衛
5月14日(水) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	北山地区コミュニティセンター	小平吉保、伊藤玲子、宮坂武男、伊藤勝、篠原啓郎、小松一平、勅使川原はすみ、両角昌英

【問い合わせ先】

茅野市議会事務局 TEL：72-2101（内線351・352）／ FAX：73-7936
E-mail：gikai@city.chino.lg.jp

第1回議会報告・意見交換会を開催しました！

平成26年2月12日(水)、宮川地区コミュニティセンターにて、初めての議会報告・意見交換会が、38名の市民のご参加をいただき開催されました。

アンケート結果からは、開催内容や方法について好評をいただき、継続開催を望む意見をいただきました。テーブル別グループ懇談に出された意見について、ホームページや、議会だよりに掲載することといたしました。以下その主要な意見です。

＜議会に関する意見＞

・議員定数は18人で不足はないか。削減の経過は？ 削減を求める意見。・議員報酬を下げるべきだ。・視察研修は慰安旅行では？・会派とは何を目標としているか？・常任委員会の開催日程や一般質問内容のホームページへの掲載を求める。・主要な行政施策に絞った議会の継続的な調査活動が必要。・市民要望を把握し政策につなげる活動を求める。・議員個人の報告書を見たい。・請願・陳情の提出者名の公開。・報告でなく意見交換を主にやって欲しい。・問題を議員から投げかけてほしい。・テーブルごとにテーマを絞って。

＜市政に関する意見＞

・登山者のトイレ対策(旭小屋) ・消防団体制、組織の検討、初期消火組織や体制の検討 ・市民活動センター設置に係る説明が必要。市民活動センターは、財政縮減の中新築でなく補修でよい。・空家の福祉利用。・市長はなぜ外郭団体の長をやるのか？

いただいたご意見には当日議員から回答し、市政に関する意見については行政側へ伝え、詳細については茅野市議会のホームページに掲載しております。ご覧ください。

